1）平成28年度事業計画及び予算案

Ⅰ　平成28年度重点活動項目

平成 28 年度重点活動項目

協会設立50周年記念事業の挙行と地域包括ケアシステムにおけるさらなる貢献

協会設立50年周年にあたり、『日本作業療法士協会五十年史』の発行、協会設立50周年記念式典を滞りなく執り行う。また、この節目に作業療法の協会定義の改定を検討し、作業療法の本質について議論を深める機会とする。

他方、継続的な課題の一つである地域包括ケアシステムへのさらなる寄与に向けて、介護保険事業で一定の評価を得て会員にも普及してきている「生活行為向上マネジメント」を介護予防や難病、発達障害、精神障害など他の障害児・者へ適用するための具体的な方法を示し、その普及を促進する。その点、養成教育においても地域包括ケアシステムに貢献できる人材育成の充実を図る必要があり、『作業療法学全書』の改訂作業と共に喫緊に取り組むべき課題である。なお国際交流については、一昨年のWFOT大会開催、昨年度のアジア太平洋作業療法会議により、アジア地域との交流を深めてきたところであるが、今後この地域における作業療法の発展に寄与するためにも、各国との様々な提携・交流の形を明示し、国際的な相互交流を一層活発化させる。

1. 作業療法の学術の発展への取り組み
   1）現行法「理学療法士及び作業療法士法」改定を視野に入れた作業療法の定義改定案を社員総会での検討に向けて準備……継続
   2）英語版演題登録システムを活用し、第50回日本作業療法学会からの英語セッションを開始……継続
2. 作業療法士の技能の向上の取り組み
   1）障害者の地域生活支援・学校教育分野など医療以外の領域における作業療法の役割に関する研修会強化……新規・継続
   2）養成教育課程において生活行為向上マネジメント含めた地域作業療法学を充実……新規
   3）『作業療法学全書』第4版の企画・編集……新規
3. 作業療法の有効活用の促進に向けた取り組み
   1）生活行為向上マネジメントを難病、発達障害、精神障害などの障害児・者に適用する方法の提示……新規
   2）生活行為向上マネジメントを全会員に普及し関連他職種への認知度向上……継続
   3）地域ケア会議への参画、介護予防・日常生活支援総合事業への参画、生活行為向上マネジメントを介護予防に応用した実践事例の収集、等を通して地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割（障害者支援のあり方を含む）を明示……継続
4. 作業療法の普及と振興に関する取り組み
   1）他職種との相互理解・連携を促進するための研修会等を企画・開催……継続
5. 内外関係団体との提携交流に関する取り組み
   1）アジア諸国の作業療法団体との学術および人的交流を促進……継続
   2）国内関連団体との様々な提携・交流の形式を提示……新規
6. 大規模災害等により被害を受けた人への支援
   1）大規模災害に備え、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT：Japan Rehabilitation Assistance Team）ならびに都道府県士会との間で平時の連携・協力体制を整備……継続・新規
7. 法人の管理と運営における取り組み
   1）『日本作業療法士協会 五十年史』を発行し、協会設立50周年記念式典を挙行……継続
   2）女性会員の協会活動参加を促進する環境の整備……新規
   3）災害時対応の事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の一環とした京都サテライト事務所の運用、10万人会員を管理する体制整備など、協会の情報管理システム構築の推進……新規・継続